

科目	古典B	学年	第3学年	開講	通年	必修	2 単位
----	-----	----	------	----	----	----	------

教科書：新精選 古典B 古文編 漢文編(明治書院)
副教材：新精選 古典文法(東京書籍)漢文必携(桐原書店)重要古文単語315(桐原書店)
共通テスト国語対策問題集[標準から実践へ]古典編

1 学習の到達目標

国際化する社会の中で、深く考え新たな道を見出すために、古典を読む力を進んで育てるとともに、古典についての理解や関心を深める。
古典を読んで思想や感情などを的確にとらえその価値を考察する。
多様な文化を尊重するとともに、伝統的な言語文化および言語の特徴について理解を深める。

- 2 学習計画及び評価方法
- a 知識技能
 - b 思考・判断・表現
 - c 主体的に学習に取り組む態度

学期	項目	単元	学習内容	学習のねらい	月	考查	評価の観点		
							a	b	c
前期	古文	随筆(1)	枕草子「うつくしきもの」 「宮に初めて参りたるころ」	現代にも通じる平安時代中期の筆者の感性に触れ、細やかな観察眼、人間の心の機微、を読み解き、正確な読解力を養う。 作者の宮廷生活に対する感じ方をまとめる。	中間		○	○	○
		漢文	詩 「桃夭」「勅勒歌」「子夜呉歌」 「贈衛八処士」 詩の暗唱	古体詩と長編の詩を通して、言葉の芸術に触れ、人間の普遍的な感情への理解を深める。 格調高い韻律に親しみ、言語理解を高める。			○	○	○
	古文	評論(1)	三冊子「不易流行」	近世の評論を読み、松尾芭蕉の芸術性とその継承について理解する。「个易」と「流行」の理念、普遍的な価値について理解を深め、まとめる。			○	○	○
		物語	堤中納言物語「虫めづる姫君」	既存の価値観に染まらない姫君の発言と行動を通して、古典の中の多様性を知り、物語の面白さを味わう。生涯にわたり古典に親しむ態度を養う。			○	○	○
	漢文	史話・史伝(1)	史記「漂母進食」「俛出袴下」	史伝に対する理解を深め、読解力を高める。 背水の陣で活躍した韓信やその周りの人々の姿を通して、人間存在について考える。			○	○	○
	前期 授業評価								
後期	古文	随筆(2)	蘭学事始「フルヘツヘンド」	江戸時代の杉田玄白の随筆を読み、その業績と苦心と工夫、事業を成功させる在り方を学ぶ。 西洋と当時の日本の学術文化の関わりを理解する。	期末		○	○	○
		漢文	思想 孟子「性善」 荀子「性悪」	「諸子百家」の中でも代表的な「儒家」の思想に触れ、現代に生きる者としての人生観、社会観「性善」「性悪」といった立場と考え方を学ぶ。			○	○	○
	古文	伝承	古事記「倭健命の望郷の歌」 作品中の和歌暗唱	現存する最古の文字としての「古事記」を読み、上代の言葉から現代の言葉への変遷を知る。 言霊や禁忌という古代の考え方を理解する。			○	○	○
		漢文	史話・史伝(2)	資治通鑑「蘇武持漢節」			「史記」以降の史書「資治通鑑」を読み、困難な状況の中で現実と格闘する人間の生き方を学ぶ。		
	古文	評論(2)	風姿花伝「秘する花を知ること」	能楽の大成者による評論を読み能楽の美的理念、芸道の諸事に通じる価値観を学ぶ。 能楽の独自性と語文化の云道を調べ、まとめる。			○	○	○
	後期 授業評価								

3 評価の観点

描かれた人物、状況、文学史的背景を理解しているか、定期テストによって確認し評価する。語句の意味小テスト、レポート、ノート、暗唱により、主体的に学習に取り組む態度を評価する。